

中世掛幅縁起絵研究会 展示&シンポジウム

中世説話画研究の現在

— 模写・トレース・復元 —

〔会場〕 学習院大学

史料館展示室（北二号館一階）

〔会期〕 二〇〇九年十二月八日（火）～ 十二日（土）

〔開室時間〕 午前十二時～ 午後五時

ただし、土曜日は午前十時から

*入場無料

協力 飯田市美術博物館・静嘉堂文庫美術館・

学習院大学史料館・学習院大学人文科学研究所

主な展示資料 飯田市美術博物館所蔵「聖徳太子絵伝」

描き起しトレース図（パネル）

「源誓上人絵伝」現状および想定復元模写

国会図書館所蔵「鞍馬寺縁起絵」（パネル）

個人蔵模本・粉本類（江戸時代）

展示



■交通アクセス

JR山手線「目白駅」徒歩2分
東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」徒歩5分

■学習院大学 目白キャンパスマップ

<http://gakushuin.ac.jp/mejiro.html>

■問い合わせ先

中世掛幅縁起絵研究会 幹事 kakefuku@live.jp
藤原重雄（東京大学史料編纂所）

TEL 03-5841-5971 / fujiwara@hi.u-tokyo.ac.jp

図版＝飯田市美術博物館所蔵
「聖徳太子絵伝」第1幅（部分）



中世説話画研究の現在

— 模写・トレース・復元 —

中世日本においては、何枚もの大きな画幅に宗教的な物語を描いた絵画作品がいくつも制作されました。その質の高さと豊かな内容に比して、相対的に研究が手薄な分野となっています。わたくしたちの研究会では、寺社の創建説話や祖師の伝記を描く掛幅縁起絵・伝記絵を中心に、調査研究をすすめてまいりました。今回は特に、模写・トレース・復元制作といった美術史学では副次的・補助的な素材・手法に焦点を当てて、ささやかなシンポジウムと展示会を企画いたしました。皆様のご来場をお待ちしております。

中世掛幅縁起絵研究会・代表 佐野みどり
(学習院大学 文学部 哲学科)

日時：2009年12月12日(土) 10:30～17:00

会場：学習院大学 北2号館10階 大会議室

- * 事前申込み不要(無料)
- * 詳細は変更することがあります。

【午前の部】10:30～12:00

- 「掛幅縁起絵の研究課題」
- 「掛幅本「鞍馬寺縁起絵」模本について」
- ・「掛幅縁起のパースペクティブ」

佐野みどり(学習院大学 教授)
藤原重雄(東京大学史料編纂所 助教)
高岸 輝(東京工業大学 准教授)

【午後の部】13:30～17:00

- 「模写制作を通じた「源誓上人絵伝」研究」
- ・「模写制作の意義と問題点」
- ・「聖徳太子絵伝」管見
- 「飯田市美術博物館所蔵「聖徳太子絵伝」の絵画史的位置」

鴈野佳世子(東京藝術大学 教育研究助手)
米倉迪夫(上智大学 教授)
原口志津子(富山県立大学 教授)

- 「古画模写制作・研究の現在」

織田顕行(飯田市美術博物館 学芸員)
宮下真理子(東京藝術大学 非常勤講師) × 佐野みどり

シン
ポ
ジ
ウ
ム